



小児がんの子どもたちを救おうと 全国から医療の専門家が結集しました



第 17 号
 発行日 2021 年 1 月 27 日
 NPO 法人
 日本小児がん研究グループ
 JCCG 発行

ご当地キャラからの応援メッセージ

反響特集

いつも心から
ワシら
おうえん
してるで♪



兵庫県尼崎市
©UPRIGHT

ちっちゃいおっさん

全国各地で活躍中のご当地キャラクターの皆さんから、小児がんなど病気と向き合う子どもたちへいただいた応援メッセージ（号外第9号掲載）には、多くの反響があり、報道もされました。寄せられた声を紹介します。

高知から応援
しちゅうきねえ！
一緒に
がんばろうねえ～！



高知県高知市
©株式会社はりま家
とさけんぴ

届いた声

ユーイング肉腫治療中 12歳（新潟県）

全国のご当地キャラにたのしみされて
いると思ふととてもうれしくて、はげ
みになります。
ぼくはき点病院というものがあ
るのを知りませんでした。
治療チームにいる人かいると、子ども
がわとして、とても安心できるのだから
と思います。
小児がんの子どもたちを長く見守
り続けてくれるのは、すごいことだと思
いました。



こにゅうどうくん

大好きな人たちと、ぎゅーっで
できることが当たり前になる
日まで、笑顔を忘れず一緒に
乗り越えよう！

三重県四日市市
©四日市観光協会

新聞報道



毎日新聞 1 面コラム

余録

「ゆるキャラ」という呼び名を最初に使ったのはイラストレーターのみうらじゅんさんだった。2000年11月、広島・国民文化祭の時である。その後、「ひこにゃん」（滋賀県彦根市）、「くまモン」（熊本県）でブームに火が付き現在、日本ご当地キャラクター協会（彦根市）への登録は全国約230。実際はその何倍ものキャラクターが生まれている。新型コロナウイルスでイベントが次々と中止になり、ゆるキャラの出番も激減した。そんな中、専門医で作る日本小児がん研究グループ（JCCG）から協会に依頼が入る。「がんの子ども向け、キャラクターからメッセージがもらえないか」▲がんになると抗がん剤で免疫力が落ちる。コロナ感染予防のため家族との接触を制限され、週末外泊や一時退院も難しい。ストレスから涙もろくなる子もいる▲寂しさと闘う子たちへのメッセージがJCCGのホームページにある。「いつも心からワシら応援してるで」（兵庫県尼崎市・ちっちゃいおっさん）、「応援しちゅうきねえ」（高知市・とさけんぴ）、「大好きな人たちと、ぎゅーっでできることが当たり前になる日まで、笑顔を忘れずに」（三重県四日市市・こにゅうどうくん）▲白血病で九州大学病院に入院する14歳の女の子から先日、JCCGに感想が来た。この病院は今も面会禁止で、親も病棟に入れない。「方言の応援が励みになりました。その呼称誕生から20年。ゆるキャラが子どもの寂しさを少し和らげた。」

2020.10.19

（毎日新聞知的財産ビジネス本部の許可を得て掲載しています）

第 17 号のコンテンツ

- ◆ご当地キャラクターメッセージ反響特集
- ◆プロバスケットボール選手による小児がん支援
- ◆小児脳腫瘍治療後の詳しいケアの手引き
- ◆国際小児がんデー
- ◆投稿コーナーのお知らせ
- ◆ご寄付のお願い





応援団メッセージ反響特集

小児がんの厳しい治療を受けている子どもたちも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けています。入院中の付き添い人数が制限されたり、面会が禁止になったりし、一人で過ごす時間が増えました。子どもたちは、病気だけでなく、ストレスや寂しさとも闘っています。

ご当地キャラクターからの応援メッセージで、子どもたちにも、ご家族にも、医療従事者にも、少し明るい気持ちになりました。全国から届いた声です。



ご当地キャラが、その県の方言とかで応援メッセージとかをくれるから、いっぱい書いてあるし、患者さんの励みになると思いました。
14歳 急性リンパ性白血病 治療中



ユニークなご当地キャラから、いろんなメッセージをもらえて少し明るい気持ちになりました(^_^) ありがとうございます。
20歳 未分化肉腫 治療中



たくさんのご当地キャラクターに応援されて治療を頑張ろうという気持ちになれました。
16歳 急性リンパ性白血病 治療中

全国のご当地キャラに応えんされていると思うと、とてもうれしくてはげみになります。ぼくはきよ点病院というものがあるのを知りませんでした。治療チームにいろいろな人がいると、子どもがわとして、とても安心できるのではないかと思います。小児がんの子どもたちを長く見守り続けてくれるのは、すごいことだと思いました。
12歳 ユーイング肉腫 治療中



全国には色々なキャラクターがいるんですね。子どもが熱心に見ています。
家族



子どもたちを応援するタネが、いろんなところにあることを実感しています。
医師



※ご協力：日本ご当地キャラクター協会

号外第9号 QRコード





プロバスケットボール選手による小児がん支援

JCCG から 多嶋朝飛選手「ASAHI8 プロジェクト」へ 感謝状授与式

プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」の多嶋朝飛選手による、小児がんの患者さん支援の「ASAHI8プロジェクト」へ、JCCGから感謝状を授与するイベントが、このほどオンラインで開催されました。

同プロジェクトは、レバンガ北海道のホームゲームの際に多嶋選手がレモネードスタンドを開催し、その売り上げをJCCGに寄付することで小児がんの子どもたちを支援しようというものです。さらにレモネードスタンドをサポートするポッカサッポロ北海道株式会社も、多嶋選手の総得点数に1000円をかけた額をプラスし、総額が小児がん支援となりました。(この活動は、2019～2020年のシーズンに実施されました。)

オンライン授与式では、JCCGからの感謝状を手に多嶋選手が「実際の活動では、たくさんの方々にご協力いただいたことで僕の思いを形にすることができました。今後もプロスポーツ選手として今自分にできることを考え形にしていきたい」と挨拶し、足立壮一JCCG理事長が「ご支援いただきありがとうございます。一人でも多くの小児がん患者さんを助けられるようオールジャパンでがんばっていきます」と述べました。



ひとりひとりにレモネードを手渡す多嶋選手 ©LEVANGA HOKKAIDO



感謝状を手に抱負を語るレバンガ北海道の多嶋朝飛選手

感謝を述べる足立壮一JCCG理事長(右)

小児がん経験者として主治医の足立医師と参加した高校生、上田創大(そうた)さん(左)

チーム名の由来 レバンガ北海道

チーム名「レバンガ」は「がんばれ」の逆さ言葉。道民から「がんばれ」と応援してもらえるチームであり続けるといふ誓いが込められているそうです。

サプライズも!

授与式には、4歳で急性リンパ性白血病を発症、足立医師らの治療で元気になり、小学生の頃よりバスケットボールに親しんでいる上田創大さん(高3)も参加。サプライズで多嶋選手のサイン入り公式ボールが贈られました。

上田さんに、小児がんとバスケットボールについてお話をうかがいました。



治療で芽生えた絆 バスケからひろがる未来



サインボールと上田さん

まだ4歳だった治療当時、上田さんは麻酔のにおいが苦手な点滴室に入ると泣いていたそうです。でも、院内のルームメイトとはいつも一緒に楽しく遊んでいました。病院で迎えた誕生日、足立医師はじめ病棟のスタッフ全員がそろってお祝いしてくれたことは忘れられないといいます。「足立先生には命を救ってもらいましたし、あれだけ自由にはっちゃけて過ごせていたのは、大きな器で見守っていただいていたからだ」と感謝しています。今年に2回ペースで足立医師の診察を受けています。15年のつき合いの中で上田さんのバスケ熱もよく知る足立医師が、今回のイベントに声をかけました。

バスケットボールやけがの経験から現在スポーツトレーナーを目指している上田さんは、多嶋選手に「けがの防止としてどんなトレーニング、ケアをしていますか?」と尋ね、「基本的な食事と睡眠などしっかり休息をとることが、まずは何よりものケアだと考えています」などの返答に、大きく頷いていました。

上田さんのバスケットボールでのポジションは、多嶋選手と同じ「ガード」です。「ゲームを組み立てるガードは、味方の性格も熟知しそれぞれの持ち味を引き出してプレーにいかしていく役割なので、テクニックだけでなく自分自身の内面を磨くことも重要だと考えています。多嶋選手もきっとご自身の内面も鍛えておられ、社会貢献活動もされているのだと尊敬しています」。多嶋選手の活動に刺激を受け、上田さんもいずれ自分でもレモネードスタンドを開催してみたいと考えているそうです。

足立医師との絆が多嶋選手との出会いにつながり、上田さんには「社会貢献活動も」との新しい夢が生まれています。



小児脳腫瘍と闘ってきた皆様へ

患者さんも、医療従事者も、まわりの方も

～JCCG脳腫瘍委員会～

日本初の
内容です



「治療後に困ったらこれを！」という手引きができました

小児脳腫瘍を治療し、退院した後に、「疲れやすい」「うっかりミスが増えた」「気分が落ち込みやすい」などの症状が出る場合があります。どこに頼っていいかわからずに、患者さんが一人で思い悩むことも少なくありません。

このほどJCCG脳腫瘍委員会は、小児脳腫瘍の治療後の困ったことに、専門医などと共に適切に対応していく「手引き」を2種類（導入版・詳細版）作成しました。ご本人・ご家族向けにわかりやすくまとめた「導入版」は、診断のついた段階で手にとっていただくことで、治療の備えとしても使用していただけます。「詳細版」には困りごとの例や対応方法を詳しく掲載。医療従事者や教育関係者、ご家族などまわりの方がご本人の力になる方法も具体的に紹介されています。

小児脳腫瘍の治療後に…

精神的な影響も、脳に起因した症状かもかもしれません。

ご本人やご家族が悩みを抱えたままにならないよう、困っていることの原因を探り、対応をしていくための手引きです。



疲れやすかったり
やる気が出な
ったり…

ミスが増えたり、
覚えることが苦
手になったり…

ひとりで悩みを
抱え込まないで



怒りっぽくなったり、
感情が不安定に
なったり…



「手引き」を中心になってまとめた温井めぐみ医師にお話をうかがいます。

小児脳腫瘍の患者さんとの出会いは今から約15年前…

医師になって現在16年目です。2～4年目に、小児科全ての科で研修を受けました。その頃担当していた脳腫瘍の患者さんは、当時の治療ではお助けすることが難しいことも多く、治って退院されるお子さんに対して「よかった」という思いしかありませんでした。そして、退院後は幸せに過ごされているのだと思い込んでいました。

10年後。当時幸せに退院したはずの患者さんから衝撃の言葉

その後、小児神経内科（成長過程の子どもの脳、脳と体をつなぐ神経、体を動かす筋肉に関わる疾患の専門）を専攻し、お子さんの発達を中心に診ていく中で、脳腫瘍を治療している医師から「治療後なかなか学校になじめない、友達とうまくいかない、仕事で困ることが多いなど苦労しているお子さんがいるので、一度診てもらいたい」との相談を受けました。

そこで診察することになったのが、まさに研修当時に「よかった」と送り出した子たちでした。

その子たちは10年後、何も幸せそうではなく、さまざまな悩みの中にいました。一番衝撃だったのが、「私はあの時に死んでいた方が家族は幸せだった」との言葉です。退院したら終わりなんてことは全くなかったのだ、と強いショックを受けました。

「あなたが悪いわけではない」治療後の生活を幸せにするお手伝いを使命に

治療期間によるブランクがあったり、治療の影響で疲れやすかったり、複合的な理由で社会に溶け込みにくくなっているお子さん。がんばろうと思った矢先の再発など思わぬことが次々と起こり、やる気が出なくなってしまうお子さん…。それぞれ深刻な状況の中で、うまくいかないことを「自分のせいかな」と悩んでおられる姿に、「そういった影響はすべて治療を頑張ってきたから起こっていること。あなたが悪いのではないよ」と伝えていかなければと思ひ、この状況の改善を使命にしようと決意しました。さまざまな治療後の症状はいかんともしがたいことなのか、早めに対応すれば防げるのか、何か解決策があるのか、海外の事例などを調べ始めました。驚くことに海外では、ドリルやコンピューターを使用した訓練、学校の先生との連携による成功事例が20年前から報告されていました。日本でもしっかり取り組んでいかなければ、との思いを強くしました。



イラスト入りでわかりやすい「導入版」B5 カラー14ページ



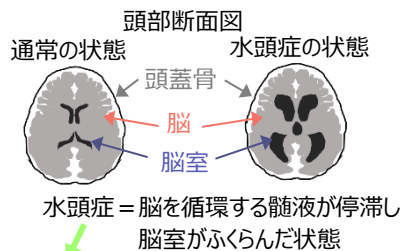
JCCG脳腫瘍委員会
大阪市立総合医療センター
温井 めぐみ医師
※手にしているのが「詳細版」
A4版 59ページ





いったんここで、脳腫瘍の治療の話。

小児脳腫瘍の主な治療



小児脳腫瘍の治療には、腫瘍の増大を止めるための**放射線治療**、腫瘍を取り除くための**手術**、腫瘍を小さくしたり再発や転移を防いだりするための**抗がん剤**を使った治療（化学療法）があります。これら（特に放射線治療）や、腫瘍そのもの、水頭症などの影響で脳がダメージを受けることで記憶力や注意力が低くなったり、読み書きや計算が苦手になったりすることがあります。その症状は「高次脳機能障害」として知られています。ほかにも疲れやすい、落ち込みやすいといった精神的な症状があり、それらも治療の影響によってもたらされる見逃せない影響です。

神経心理学的合併症

高次脳機能障害



記憶障害、注意障害、失語症など

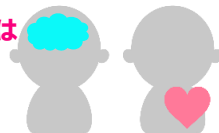
精神症状



疲れやすい、落ち込みやすい、自発的に動けないなど



※神経心理学とは



脳を中心とする神経系と、言語や認知（判断・記憶など）を中心とする精神機能との関係を究明する学問

「しんけいしんりがくてきがっぺいしよ = 神経心理学的合併症」、平仮名で18字、漢字でも9字あるよ。医学用語は難しく見えるけれど、つまり、脳の障害によっておこるさまざまな症状のことなんだね。



ここからは「神経心理学的合併症」という用語を使っていきますね。温井先生のお話を続けます。

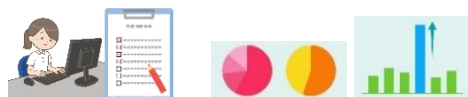
JCCG脳腫瘍委員会で「神経心理学的合併症」の専門研究チーム発足



オールジャパンで小児がんの治療研究に取り組むJCCGには、横紋筋肉腫、ALL（急性リンパ性白血病）など15の疾患委員会があり、それぞれの専門家がよりよい治療を検討しています。小児脳腫瘍に関わる専門家が集まるJCCGの脳腫瘍委員会では、2016年に「神経心理学的合併症」を詳しく調べて適切な対応をするための研究チームが立ち上がりました。患者さんのお役に立てる絶好の機会だと思い、メンバーに加わりました。

このチームには、私のような神経心理学的合併症を呈した脳腫瘍のお子さんに関わってきた小児神経科医のほか、大人の症状に詳しい医師、リハビリテーションに詳しい医師、脳腫瘍の治療を行っている医師、長期フォローアップに詳しい医師、心理面の専門家、QOL(Quality of Life = 生活の質) 研究の第一人者など、各分野のエキスパートがそろいました。

約4年かけ、現場の要望に応える内容に



専門研究チームでは、最初にJCCGの全国ネットワークを生かし、脳腫瘍に関連する90の病院でアンケート調査を実施しました。すると、ほとんどの医師が神経心理学合併症の患者さんの適切な検査やサポート体制などに課題を抱えていることがわかりました。神経心理学的合併症の具体的な症状や確かめ方、訓練方法など要望のあった内容をできるだけ取り入れ、患者会の方からのご意見も反映し、約4年がかりで「手引き」がまとまりました。



それでは「手引き」(詳細版)の内容を抜粋して紹介しますね。

同じ困りごとでも、患者さんひとりひとりの立場に立って

困ったら、ためらわずに外来へ



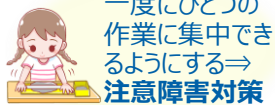
神経心理学的合併症の具体的な症状を8～10ページに挙げています。55～59ページにある高次脳機能チェックリストと合わせて、このような困りごとがないかどうかをチェックし、**困りごとがある場合は、外来で主治医の先生に伝えてみてください。**

同じ困りごとであっても、患者さんひとりひとり詳細は異なります。例えば同じ「勉強ができなくなった」という訴えでも、「理解力が下がったから」「集中して先生の話が聞けなくなったから」「読み書きに問題があるから」「疲れやすくなったから」「早くこなすことが難しくなったから」など、いろいろな原因があります。**病院で症状に合わせた検査を行い、「困りごと」の原因を明らかにすることが大切になります。**適切な支援のためにも、生活する上での「困りごと」を信頼できる尺度で把握することが必要です。具体的な検査の例は18～20ページをご参照ください。

「環境調整」～本人が困らないようまわりが変わる、まわりが変わることで本人が楽に～

「困りごと」の原因がわかったら、34ページからの「環境調整」（リハビリテーション用語で学習活動や日常生活での配慮の例のこと）をご覧ください。本人自身が変わらなくても、まわりの環境を整えていくことで「困りごと」は減らすことができます。

神経心理学的合併症は、日常生活、社会生活に直結する後遺症なので、家庭、学校、就職先などの深い理解と協力が重要となります。生活環境の配慮やかかわり方の例をできるだけ多く挙げましたので、参考にし、取り入れていただけるとありがたいです。



一度にひとつの作業に集中できるようにする→**注意障害対策**



小グループ内で発言する機会をつくる→**言語機能の改善**



プリント配布や黒板消しなど、活動的な仕事を作る→**多動・衝動性の改善**



IT機器の使い方を指導する→**記憶障害の代替手段**

もう一言

「手引き」を使うことで、患者さんの悩み・苦しい時期を少しでも減らせれば

幼少期に脳腫瘍を発症し、困ったことが生まれつきのものと区別がつかない場合や、治療後時間が経ってから困ったことが出てきた場合には、その症状が脳腫瘍と関係があるかどうか迷い、病院で相談することをためられるかもしれません。「今困っている」のであれば、遠慮なく外来主治医に相談してください。

うまくいかない経験が重なると、「自分は何をやっても無理」と思い込んでしまう場合があります。検査で「あなたはこれができる」「苦手なのはここだけ」と得手不得手を確認し、得意なことは生かし、苦手なことには代わりの手段を検討し、環境調整も考えていけば少しずつ楽になっていただけるのではないかと思います。つらいことが積み重なる前に、できるだけ早い段階で解決方法が見つかるのがご本人にとっては一番です。

この手引きが、患者さんにとっての苦しい時期を少しでも短くし、学校や就職などのよりよい選択ができるお手伝いとなり、幸せな生活につながることを願っています。

導入版QRコード



詳細版QRコード



手引きはどちらもJCCGのホームページ(News & Topics)に掲載されています。ダウンロードし、ご活用ください。



国際小児がんデー関連イベント

バレンタインデーの翌日、2月15日は「国際小児がんデー」です。

この日を中心に、世界各地で小児がんの子どもの支援を呼びかけるイベントが開催されます。日本でも国際小児がんデーのある2月の小児がん啓発活動が定着してきました。



今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、例年通りの開催が難しい中、各地で工夫をこらしたイベント、恒例となっているイベントが予定されています。

取り組みの一部をご紹介します。

チョコレートで啓発

♥贈り物にも



「チャリティーゴールドリボンチョコレート」バレンタインの贈り物に、このチョコレートはいかがでしょう？

500円以上の募金をしてくださった方に、オリジナルチョコレート（1箱6枚入り）を差し上げます。小児がん支援のシンボル・ゴールドリボンがデザインされ、小児がんの啓発カードが添えられています。限定4000個。

お問い合わせ「がんの子どもを守る会」
<https://www.ccaj-found.or.jp/iccd/>

オンラインライブ 全国に届け♪

♪2/15 18:00～ エンターテイメントで子どもたちに元気を



「小児がん治療支援チャリティーライブ LIVE EMPOWER CHILDREN 2021」（無料生配信）子どもたちを音楽で元気づけようと、ピコ太郎、TRF、hitomi、松浦航大、梶原岳人、moumoonら、人気アーティスト13組が集結、無観客・生配信ライブを開催します。主催者は、「病室で闘病生活を送っている子どもたちにも楽しんでほしい」と話しています。

視聴は無料。小児がんの子どもたちを支援できるさまざまな寄付体制が構築されています。



2021.2.15 17:00 18:00 ONLINE

♪視聴方法の詳細・小児がんの子どもたち支援方法など詳細は公式サイトへ
<https://empower-children.jp/lec/>



全国各地のイベントの一部を紹介します。
新型コロナウイルス感染症の影響による内容変更の可能性があります。

● 2021/2/14 14:00～15:30
ホテルニューオータニ佐賀（現地開催 & オンライン・ライブ配信）
「世界の小児がんの子どもを救おう!!」
対象) 患者・家族、医療従事者、一般
内容) 小児がんテーマの講演やメッセージ、ミニコンサート、子どもミュージカル
問) NPO法人小児がん・まごころ機構
ホームページ
<https://mocc4u.org/>



● 2021/2/15～2/19
倉敷中央病院 セントラル・パーラー
「国際小児がんデー」
対象) 患者・家族、医療従事者、来院者
内容) 地域で小児がんのお子さんを診察する意味を知っていただく
問) 倉敷中央病院小児科
086-422-0210

● 2021/2/15前後
岩手医科大学 がんサロン
「がんの子ども絵画展」
対象) 来院者、一般
内容) 外来通院者も含めた小児がん患者の絵画を展示
問) 岩手医科大学 がんサロン



● 2021/2/8～2/19
大分大学医学部附属病院
「国際小児がんデーイベント」
対象) 患者・家族、医療従事者、来院者
内容) ゴールドリボンツリー展示、ポスター掲示、パンフレット設置
問) 親の会ブルースター がんの子どもを守る会
03-5825-6311

● 2021/3/1～3/5
福島県立医科大学付属病院
「小児がんの子どもたちの絵画展」
対象) 患者・家族、医療従事者、来院者
内容) 小児がんの子どもたちが描いた絵画を展示
問) がんの子どもを守る会
03-5825-6311

● 2021/2/20
国立成育医療研究センター（オンライン開催）
「小児がんWEB交流フェスタ 2021」
対象) 患者・家族・医療従事者、ご関心のある方
内容) WEB講演会、絵本タイム、団体紹介など
問) 国立成育医療研究センター 小児がんセンター事務局

● 2021/2/15～2/26
埼玉県立小児医療センター 正面玄関 展示スペース
「世界の小児がんの子どもたちの絵画展」
対象) 患者・家族、医療従事者、来院者
内容) 世界の小児がんの子どもたちによる絵画の展示、啓発ポスター掲示
問) 埼玉県立小児医療センター 地域連携・相談支援センター

● 2021/2/13
ハートピアかごしま
「小児がん講演会&相談会 2021」
対象) 患者・家族、医療従事者
内容) 小児がん患者の日常生活、ゲノム医療についての講演会、個別相談会
問) 鹿児島大学小児科

● 2021/2/1～2/28
宮崎大学医学部附属病院 正面玄関ホール
「ゴールドリボンツリー展示」
対象) 患者・家族、来院者
内容) ゴールドリボンツリー展示、ポスター掲示、パンフレット設置
問) がんの子どもを守る会
03-5825-6311



国際小児がんデーイベントに詳しい、「がんの子どもを守る会」の山下公輔理事長にお話をうかがいます。

コロナ禍の下での国際小児がんデー

“You are not alone”/“We are not alone”

～君はひとりぼっちじゃない、私たちもひとりぼっちじゃない～

(公財) がんの子どもを守る会 山下 公輔理事長



2月15日の「国際小児がんデー」(International Childhood Cancer Day/ICCD) は、小児がん親の団体の国際組織(現Childhood Cancer International/CCI)が世界規模での小児がんの啓発活動を提唱したのが始まりです。

がんの子どもを守る会は、CCIの呼びかけに呼応して2012年からこの日を中心に全国各地で啓発イベントを推進しています。毎年各地の医療機関・公共施設や民間施設など100か所以上の協力を得て、国際小児がんデーのポスターの掲示、小児がんについての資料の配布や絵画展などを行っています。また最近ではオリジナルチョコレート募金(p6で紹介)なども行っています。

本年はここまで感染拡大が長引くとは予想できない中で、活動縮小は避けられないだろうと危惧しています。

そんな中で思うのは、ICCDを提唱したCCIがかねてより世界中の小児がん患者や支援者に対して発信している“**You are not alone**”/“**We are not alone**”というメッセージです。

今、新型コロナ禍の下で改めてこの言葉が身近に感じられます。“You are not alone”/“We are not alone”の声の輪には、小児がんの子どもたち支援の気持ちを分かち合ってくださいる全ての人々が包まれています。皆さまが現在の厳しい環境を乗り越えられることを祈るとともに、たとえICCDの活動が縮小されたとしても小児がんの子ども達や家族に対する皆様の思いが、広がり強まることを願っています。



次号から
投稿コーナーが
スタートします♪



読者投稿コーナー

あるある！

みんなの歩いてきた道 歩く道

治療中の方も、
経験者の方も、ご家族も、
奮って投稿をお寄せ
ください♪♪



絵でもエピソードでもなんでもOK！

投稿大募集

ペンギンキャラクターとコーナータイトルについて

ファーストペンギンって？

治療中の方、治療を経験した方からの投稿を募集します。
(ご家族・ご友人からの投稿も受け付けます)

募集内容⇒

絵や写真、俳句、川柳などの作品、
日ごろ考えていることつぶやき、
今夢中になっていることの紹介、
主治医の先生や病院スタッフさんとのエピソード
…などなど、何でもOKです。

応募方法⇒ 応募フォームからご応募ください。

応募フォームQRコード



応募フォームURL

https://docs.google.com/forms/d/1_e-eK30semoFY2yBM28fH3a9MQQGPQML5BieJhBEJA/edit

「ファーストペンギン」という言葉をご存知でしょうか？
集団行動をするペンギンたちの中には、危険もある海へ、
魚を求めて最初に飛びこむ勇気あるペンギンがいます。すると仲間たちも最初のペンギン（ファーストペンギン）に続くのです。そこから、初めてのことに挑戦する勇敢な精神の持ち主が「ファーストペンギン」と呼ばれるようになりました。
ぜひこのコーナーへ「ファーストペンギン」的な一歩をお願いします。みなさんの投稿をお待ちしています。
また、コーナーのタイトル「あるある」には、みなさんの「歩（ある）いてきた道、これから歩（ある）く道」をお伝えいたしたいとの思いを込めました。投稿から「あつ、それあるある！」との共感がひろがり、皆さんの安心感や前向きな気持ちにつながっていくことも願っています。

ご寄付のお願い

小児がんの子どもたちのサポートにご協力ください

1 カ月あたり 1000 円、年間 12000 円のご寄付で、
がんの子ども 1 人の治療支援が可能になります。

「未来の新治療開発」（バイオバンクへの細胞保存）、「正確な診断」（中央診断システムの維持）、「大人になるまで見届け」（長期フォローアップ手帳の確実な配布と運用）。そのために、小児がんの患者さん 1 人に年間約 12000 円が必要です。
JCCG は、毎年新たに発症する 2500 人の子どもの命を守ろうと努力しています。

一人でも多くの子どもたちに、「治った！」
という明るい未来をプレゼントするために、
どうか協力をお願い申し上げます。



ご寄付はこちらへお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行 郵便振り込み
口座記号 00850-5 口座番号 153506
加入者名 NPO JCCG

JCCG HP より、クレジットカード寄付も可能です

JCCG ホームページ
インターネットでのご寄付
↓
クレジットカードで寄付



JCCG 事務局

〒460-0003 名古屋市中区錦 3 丁目 6 番 35 号 WAKITA 名古屋ビル 8 階
TEL : 052-734-2182 FAX : 052-734-2183 E-mail : friend@jccg.jp



Special Thanks!

イラスト：かーとーゆーこ (<http://katoyuko.sakura.ne.jp/>) コピーライティング：石黒 佐和子
JCCG 自動販売機デザイン：有限会社 Sadatomo Kawamura Design

JCCG ニュースレターは、ご寄付をいただいた皆様や以下の支援団体様のご協力のおかげで発行されております



●特定非営利活動法人 白血病研究基金を育てる会



認定NPO法人
ゴールドリボン・ネットワーク



レモネードスタンド
普及協会

